学校法人専修大学 13年度決算概要

学校法人専修大学の2013年度決算は、5月28日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めるとともに、骨太の大学改革に取り組んでいる。13年度は、教育・研究力の強化、競争力のある大学の創造、学生支援の充実、ブランド力の強化、社会・地域貢献活動の充実等に注力した。

専修大学は、魅力ある教育研究環境を再構築するべく、神田及び生田のキャンパス整備を推進した。神田キャンパスについては、主に教室と学習支援機能を配置した新たな神田5号館が3月に竣工。生田キャンパスにおいては、専修大学国際交流会館、生田新体育寮・新体育館（仮称）の建設を進めるとともに、生田3号館跡地を活用する再開発について、大学院・研究室を中心とした高層棟校舎と学生のアクティブ・ラーニング空間を中心とする低層棟校舎を建設する基本構想を策定した。

学士課程の教育については、教育の質的向上を図るため、13年度入学者に、新たな学士課程教育（新カリキュラム）を適用することを決定した。新カリキュラムは、「転換教育課程（専修大学入門科目）」「導入教育課程（専修大学基礎科目）」「教養教育課程（教養科目）」及び「専門教育課程（専門科目）」の4領域からなる三層で構成され、教育課程全体の体系性・順次性を確保し、かつカリキュラム編成上における教養教育と専門教育の有機的連携を実現するものとなる。さらに、成績評価の厳格性と公正性を一層保証するため、成績評価基準を改正し、併せて成績評価区分も変更した。

研究力の強化にあたっては、文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトをはじめとする5つの研究拠点を展開させた。また、新たなプロジェクトの採択や外部研究資金の獲得増加に向けた支援体制を強化し、12年度の科学研究費助成事業の交付決定数については前年度比9・6%増となっている。

石巻専修大学は、教育組織に係る改革として、13年度から新たに「人間学部（人間文化学科・人間教育学科）」を開設し、理工学部に「食環境学科」及び「生物科学科」を設置した。また、教育の質保証に向けた取り組みとして、12年度に試行導入した「GPA制度」を正式に導入し、厳格な成績評価とGPA制度に基づく学習指導に注力した。

大学の特色のひとつである地域貢献については、「復興共生プロジェクト」において、被災者支援や産業支援、防災・復興に係る研究など、復興に向けた多岐にわたる事業を地域とともに展開した。さらに、地域活性化と産業の振興のために産業基盤となる研究開発、技術相談、経営相談など、産学官の連携を推進するほか、石巻専修大学開放講座や「復興ボランティア学」などを開講し、積極的な「知の発信」を進めた。今後も地域との連携・共生を推進し、復興と再生、そして発展に寄与していく。

1 資金収支計算書

収入の部では、当年度収入合計が予算比0・29%増の246億3680万円（前年度比では12・19%の減）となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0・22%増の3332億5552万円となっている（前年度比では11・36%の減）。

支出の部では、当年度支出合計が予算比1・14%減の264億7413万円（前年度比では8・39%の減）で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み67億8138万円となっている（前年度比では21・32%の減）。

（1）収入の部

①学生生徒等納付金収入は、予算比0・12%増の196億1517万円（前年度比では0・71%の増）。最終在籍者数が専修大学で1万9153人、石巻専修大学で1295人となり、全体では2万448人。最終在籍者数は、前年度と比べ、全体で432人の減となっている。

②手数料収入は、予算比6・41%増の10億3094万円（前年度比では2・92%の減）。このうち、入学検定料収入は、予算比6・35%増の9億9501万円（前年度比では2・79%の減）。入学志願者数が予算と比べ専修大学で2213人、石巻専修大学で282人の増となっている。

③寄付金収入は、予算比1・32%増の1億178万円（前年度比では33・78%の減）。差異は、一般寄付金収入（平成25年度新入生の父母等による教育研究振興協力資金）の増による。

④補助金収入は、予算比13・17%減の16億590万円（前年度比では20・33%の減）。このうち、国庫補助金収入は、予算比13・26%減の16億4649万円（前年度比では20・50%の減）。内訳は、経常費補助金が14億5671万円（前年度比では21・69%の減）、研究設備補助金が796万円、教育研究装置補助金が1億2524万円、施設高度化利子助成金が62万円、大学改革推進等補助金が5594万円となっている。

⑤資産運用収入は、予算比8・54%増の3億9435万円（前年度比では56・32%の増）。このうち、受取利息・配当金収入は、予算比12・54%増の3億3857万円（前年度比では94・82%の増）。

⑥資産売却収入は、固定資産売却収入で、川崎市道路拡幅事業計画に基づく生田校地の有償提供と車両の売却による。

⑦事業収入は、予算比3・99%減の5億414万円（前年度比では0・50%の増）。差異は、留学プログラム事前研修受講者の減、伊勢原セミナーハウス他利用者の減、石巻専修大学における受託研究費使用額の減等による。

⑧雑収入は、予算比0・48%増の8億7381万円（前年度比では16・82%の増）。差異は、専修大学における科学研究費補助金の間接経費の増等による。

⑨前受金収入は、平成26年度入学者の入学手続時における納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる）で、42億7696万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で8億4683万円。資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で51億5397万円となっている。

（2）支出の部

①人件費支出は、予算比0・10%減の147億2611万円（前年度比では2・25%の増）。臨時雇員等の採用減、退職者増による退職金の増等を含んでいる。

②教育研究経費支出は、予算比0・59%減の54億2670万円（前年度比では9・52%の減）。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。

・消耗品費支出：4億4205万円（1463万円の増）神田5号館新築に伴う設備品、助教・特任教授共同研究室設備品、教育・研究用コンピューターシステム更新に伴う神田視聴覚室改修他工事、生田4号館屋上塔屋漏水補修、生田8号館視聴覚教室他BSアンテナ修理、中央監視装置修理、研究室内装補修、助教・特任教授共同研究室電気設備工事、生命科学実験室理化学用恒温器修理、石巻専修大学実験室空調設備修理等の増

・委託費支出：15億544万円（1266万円の減）教育事務所管人材派遣業務委託費、公務員試験講座等各種講座委託費、授業評価調査データ入力及び整理委託費、キャリアカウンセラー業務委託費、教育システム開発業者委託費、山中湖及び富士山中湖セミナーハウス委託管理費等の減

・謝礼費支出：1億794万円（2042万円の減）各種講座講師謝礼費、授業科目外部講師謝礼費、教育実習謝礼等の減

③管理経費支出は、予算比1・01%増の16億3915万円（前年度比では5・45%の減）。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。

・修繕費支出：3563万円（926万円の増）神田6号館空調設備修理、神田学生食堂給水管及び天井張替、生田食堂館給湯管修理、山中湖セミナーハウス浴室棟設備交換工事等の増

④借入金等利息支出は、予算どおりで1385万円。

⑤借入金等返済支出は、予算どおりの返済で7億4332万円。

⑥施設関係支出は、予算比0・38%増の30億2848万円（前年度比では24・52%の減）。

このうち建設仮勘定支出は、生田国際交流会館、生田新体育寮・新体育館（仮称）新築工事費計上額の増

※⑥の主な内容については、後記の〔主な施設等整備事項〕に記載。

⑦設備関係支出は、予算比2・26%増の7億5741万円（前年度比では26・57%の増）。

このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比3・02%増の4億8694万円で、差異は、神田5号館新築に伴う設備品、生田9・10号館ゼミ室視聴覚設備品、生田学生サークル用掲示板購入、教員個人研究費使用額等の増、石巻専修大学における教育研究活性化設備整備費補助金による機器備品購入等の増

⑧資産運用支出は、予算比34・59%減の3億7804万円（前年度比では129・00%の増）。

退職給与引当資産への繰入支出が5000万円、法人基金準備資産への繰入支出が1億2800万円、施設設備準備資産への繰入支出が2億円となっている。

⑨その他の支出は、前期末未払金支払支出、前払金支払支出等で13億9071万円。予備費の使用額はない。また、資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で16億2966万円。

2 消費収支計算書

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債とならない収入）が予算比0・57%減の245億6478万円となった〔前年度比では0・48%（1億1736万円）の増〕。

基本金組入額合計が、予算比43・34%減の25億615万円（前年度比では52・29%の減）となり、消費収入の部合計は、予算比8・75%増の2220億5862万円〔前年度比では14・92%（28億6394万円）の増〕となった。

基本金組入額合計の内訳

第1号基本金　25億611万円の組入（当年度取得資産及び借入金返済等の組入額）

第2号基本金　当年度組入額なし（将来取得する固定資産に充てる預金等の資産の組入額）

第3号基本金　4万円の組入（校友会研究奨励基金等の組入額）

第4号基本金　当年度組入額なし（恒常的に保持すべき資金として定められた額の組入額）

消費支出の部では、消費支出の部合計が予算比0・07%減の2443億1993万円〔前年度比では1・71%（4億2402万円）の減〕。

当年度消費収支差額は、23億6130万円の消費支出超過額（前年度は56億4928万円の消費支出超過額）となった。前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、3329億5593万円となっている。

※前記の資金収支計算書と共通の科目があるので、消費収支計算書特有のものについて説明。

（1）消費収入の部

①寄付金は、予算比4・27%増の2億6126万円（前年度比では19・37%の減）。

この中には、現物寄付金等が含まれている。

内訳

受贈および編入図書　1億4149万円

その他の受贈資産　1798万円

②資産売却差額は、予算どおりで2億2518万円。川崎市道路拡幅事業計画に基づく生田校地の有償提供による固定資産売却差額。

（2）消費支出の部

①人件費は、予算比0・08%減の146億3544万円（前年度比では2・32%の増）で、退職給与引当金繰入額10億6426万円を含んでいる。

②教育研究経費は、予算比1・05%減の76億4783万円（前年度比では8・63%の減）で、減価償却額22億2112万円を含んでいる。

③管理経費は、予算比4・32%増の18億9956万円（前年度比では2・61%の減）で、減価償却額2億6041万円を含んでいる。

号館エレベーター更新工事⑥生田7号館トイレ改修工事⑦生田9号館視聴覚設備設置工事⑧生田10号館防災倉庫設置工事⑨生田校舎非常放送設備更新及び新設工事⑩生田駐輪場防犯カメラ設置電気工事⑪生田国際交流会館新築（24年度着工：継続）⑫生田第1体育館耐震改修工事⑬生田北グラウンド管理棟更衣室空調設備設置工事⑭生田新体育寮・新体育館（仮称）新築（24年度着工：継続）⑮事務用コンピュータシステム更新工事⑯教育・研究用コンピュータシステム更新工事⑰伊勢原セミナーハウス空調設備更新工事

〈石巻専修大学〉

①4号館ゼミ室煙探知機増設工事

【主な施設等整備事項】

〈専修大学〉

①神田2号館教室改修電気設備工事②神田2・3号館視聴覚設備デジタル化対応通信配線工事③神田5号館新築④生田2号館解体関連工事⑤生田4